

あなたの声をお聞かせください。身近な出来事や町に関する要望・意見など何でも結構です。投稿いただいた中から広報はがへ掲載させていただきます。その際の添削については、ご了承ください。

Multiple horizontal lines for writing responses.

イラストも募集しています。広報はがのカットとさせていただきますので、濃くはっきりとお書きください。

Large rectangular box for drawing illustrations.



●切れている外灯の修理を

下高根沢 高松イクさん
今市の小学校児童の事件後、芳賀北小学校では、学校と家庭との連携を図り、下校時の児童のお迎えを長期間に渡り実施されていることは子どもたちの安全を守るためには大変望ましいことです。
私は、私の家の周辺の外灯(防犯灯)が数箇所切れているのに気付き、役場に連絡をしたところ、早急に対応していただき大変喜ばしいことです。
部活を終え、夜道を自転車で帰宅する中学生や高校生たちにとって、ぜひとも必要な明かりではないでしょうか。
地域住民、一人ひとりが声をかけ合って、壊れた箇所、危ない箇所の修理改善することで未然に事件、事故から守ることができるのではないのでしょうか。

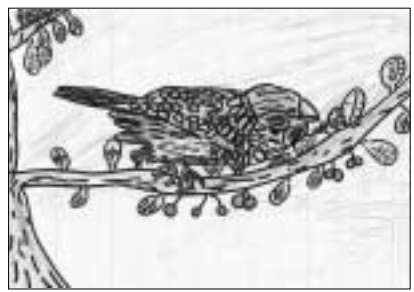
●お願いがあります

しもつかれさん
①図書館があります。本の数が少なすぎるように思えます。小学生から大人まで、幅広く使えて、そして、そこで静かに本を読めるように。今のところでは、ただ図書館がありますというだけで、実用的ではないと思います。
②家庭で出た食用油です。この油を回収して、リサイクルをしていただきたいと思うのです。地域によっては車の燃料にしている県もあるとテレビで観ました。他の不要品は、回収しているのに、油だけはありません。ぜひ回収をして再利用していただきたいと思えます。
○生涯学習課情報館推進係
現在の町民会館図書室には、

起きてからでは遅すぎます。みんなの協力で住民を守り、明るい芳賀町にいたしましょう。

総務課地域安全対策係から
○防犯灯の設置要望や管理情報等は各大字防犯協会や地域住民の皆さんのご協力を頂いています。これからも防犯意識を高め、安心して暮らせる地域づくりにご協力ください。

「本が少ない」「勉強するスペースが欲しい」「子どもと気兼ねなく本を探したい」などの要望が出されています。そこで、町では図書館機能を中心とした(仮称)芳賀町総合情報館(平成20年10月開館予定)の建設を推進しています。図書の本数は、段階的に増やすことで、最終的には現在の2倍以上になる予定です。
○環境対策課環境対策室より
ご意見ありがとうございます。家庭から排出される食用油も他のごみ同様リサイクルできるものです。技術的にも進歩しているところですので、効率のよい回収とリサイクル方法を検討していきます。



▲なみさん

町長のひとこと 森 仁

「ゆく河の流れは絶えずして、しかもとの水にあらず」は方丈記の書き出しであるが、時は常に流れていく。一年のうち何度も朝日夕日の昇降に感動する。そのスケールとスピードを考えると背筋がぞつとする。地球の自転によって、よくも宇宙に放り出されないでいるものだと。虫けらのような自分と人生のはかなさをも感じてしまう。宇宙から地球、さらに日本と、そして人間社会、現代へと、平面と時、間を拡大鏡で写してみる。
今年自由民主党
結党50周年だそうだ。小沢一郎にはじまり小泉純一郎まで、改革の旗印でデストロイヤー政治が続いている。いま国民は時代の救世主ビルダーを求めている。悲しいかな、地方自治体という法人格をもった小さな町の統領でありながら、本来違うと考えることも、国の流れの中で、その経営にあたらなければならない。地方分
権・三位一体の改革により権限事務移譲、財源不足、行政職員削減などの反面、住民サービスの向上を図らなければならぬ。どう計算しても整合しない矛盾という波にもまれている。
IT革命によって計算事務だけが向上した世の中で、人力で心のサービス度を上げる苦しみを味わっているのが末端の地方行政職員である。役場職員の「水鳥の足がき」ともいえる努力とそれを理解して協力していただける町民が、相互のコミュニケーションをとりながら住みよい町をつくっていくとすることが、まさに協働社会なのである。
この4月からその思惑で発車したのがまちづくり基本条例と第5次芳賀町振興計画である。
町民各位の深いご理解を念じるこの4月です。